

# 淡路支部ニュース

2025. 1. 25  
No. 348

兵庫県保険医協会淡路支部  
〒656-1313 洲本市五色町  
鮎原西1-1 たかたクリニクス内  
☎0799-3012272

## 新年のごあいさつ

# 阪神・淡路大震災から30年

兵庫県保険医協会淡路支部 支部長 高田 裕



2025年の新春にあたり、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年元日に能登半島地震が発生し、多くの方々被害に遭われました。一年たった今でも復旧がままならない状況であり、まだ多くの

方々が避難生活をされておられます。被災地域の皆さまの安全と一日も早い復興をお祈り致します。

今年、阪神・淡路大震災後三〇年の節目の年でもあります。南海トラフ地震を念頭に、対策を行っていかねければなりません。

われわれは阪神・淡路大震災の教訓を生かして、被災地の地域医療を担うすべての医療機関の速やかな通常機能の回復、再建で、すべての被災者が安心して必

要な医療を受けられるよう、防災も含めた公的支援を国へ求めていくことが重要です。

昨年は、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬が同時に改定されるトリプル改定の年でした。

実質マイナス改定と、物価高騰や人件費の上昇などにより、多くの医療機関の経営は悪化しております。

また、マイナ保険証の問題では昨年来、協会が取り組む「保険証廃止反対請願署名」に島内の多くの先生方に協力いただきました。

いまこそ、医療費抑制策を転換し、公益医療を提供させることこそ、国民が安心して医療を受けられることにつながる確かな道であります。

支部活動においては、第

四十六回総会記念企画として協会理事の郷地秀夫先生をお招きして「身体障害者診断書・意見書」をテーマに学習会を開催しました。

恒例のレクリエーション企画「バスツアー」も開催しました。また、「食の安全」をテーマに地元の有機農業生産者の団体と共催し、市民公開講座を開催しました。

幹事会とセットで開催している「日常診療勉強会」も好評です。今後も多彩な支部企画を開催し、先生方のお役に立てればと考えております。

淡路支部は、様々な組織・個人と協力し合い、暮らしと医療・福祉を支え続ける確かな存在でありたいと考えています。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

淡路支部バスツアー

# 藍染体験や美術館見学など地域の魅力を堪能



藍住町歴史館「藍の館」で藍染体験を楽しんだ

支部では12月1日、恒例のバスツアー「藍染体験と大塚国際美術館日帰りバスツアー」を開催。会員や家族ら26人が参加した（1月25日付兵庫保険医新聞に参加者感想文を掲載）。

今回は、藍染体験として、参加者は選んだバンドナなどを藍染料に漬け込み、自分好みのデザインに藍染め作業を楽しんだ。お昼は、鳴門の名産物を中心としたランチバイキングを堪能。午後からは大塚国際美術館で陶板で原寸大に再現された西洋名画を鑑賞した。参加者は、絶好の行楽日和のなかで、地域の魅力を堪能した。

参加者より「簡単な作業で藍染体験が出来て楽しかった」、「大塚美術館には前から行きたかったが機会がなかった。大きな壁画の迫力に圧倒された」などの声が寄せられた。

第104回評議員会

## 地元生産者と「食の安全」について考える



発言する大橋明評議員

協会は11月17日、第104回評議員会・臨時決算総会・第47回共済制度委員会を開催。評議員ら89人が参加し、2024年度前半期会務報告と後半期の重点課題、決議を承認した。

大橋明評議員(淡路市)が支部活動を報告。淡路島内で有機農業の生産者を中心とした団体と共催で「食の安全」をテーマに市民企画を開催したことや恒例の「バスツアー企画」(2面参照)など会員にとって「ためになり、楽しく、役に立つ」支部活動が報告された。

在宅ケア研究会「重度訪問介護」制度説明&懇談会

## ALS患者など重度の介護者への福祉制度の理解を深める



### 医師、看護師、介護士ら35人が参加した

参加者からは、今後ニーズが高まるなかで、制度の理解と合わせて基盤づくりが必要、などの声が寄せられた。

前半に介護事業者で淡路島内にヘルパーを派遣しているが、島内でも重度訪問介護が受けられる対象者がいないため、島外の事業所からヘルパーなどが派遣されている現状なども報告された。

支部では、12月7日に淡路市文化体育館で「重度訪問介護」制度説明と懇談会を開催、医師、看護師ら35人が参加した。

前半に介護事業者で淡路島内にヘルパーを派遣してい

る株式会社土屋の松本満氏より制度について分かりやすく解説。この制度は、ALS患者など常に介護が必要な方に対して、ヘルパーが自宅を訪問し、日常生活全般にわたる援助を行う福祉制度で、島内でも重度訪問介護

# ぜひご参加ください!

兵庫県保険医協会淡路支部「会員懇談会」ご案内

## 患者さんとより良い関係を築くために

～クレームとカスタマーハラスメントとの違いにもふれて～

日 時 2月22日(土) 18時～20時30分

(講演1時間+質疑・交流)

会 場 大和屋旅館 (洲本市本町1丁目5-13、0799-22-0247)

講 師 山内 理恵子 先生

(特定社会保険労務士/山内社会保険労務士事務所代表)

参加費 13,000円 (ふぐコース料理/飲料込)

日頃より協会活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。  
早速ですが、新年会を兼ねた会員懇談会を上記の通り開催いたします。  
懇談会では、「患者さんとの関係」をテーマに、人事労務に関する相談業務の経験をもとに多数の研修・セミナーで講演されておられる社会保険労務士の山内先生をお招きし、医療機関で実際に起こり得そうなシチュエーションでのケーススタディについて解説いただきます。  
医療機関や福祉施設は、患者さんやその家族は傷病への不安から神経質になり、また、医療に対する期待から、様々なハラスメントが起きやすい環境です。患者さんとの良好な関係づくりと様々なハラスメントから職員を守るためにも先生方はもちろん、医事課の皆さまのご参加もお待ちしています。(高田支部長記)

※お問い合わせは、Tel 078-393-1805 事務局 足立 まで

※質問されたい事項がある場合、事前に事務局までお寄せいただければ講師にお伝えします。

[E-mail] [t-adachi@doc-net.or.jp](mailto:t-adachi@doc-net.or.jp) または [Fax] 078-393-1802 (足立まで)

お申し込み Fax078-393-1802 足立 宛

2月22日(土) 兵庫県保険医協会淡路支部「会員懇談会」に

ご参加 ( ) 人 都合がつけば ( ) 人

お名前 \_\_\_\_\_ 医療機関 \_\_\_\_\_

お電話 ( ) \_\_\_\_\_

※お申込み・お問い合わせは☎078-393-1805(事務局：足立)まで